

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部)― コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部)― 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部)― 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業科目の見直し(内部評価)や改善方法の検討を行う	→研究科所属教員による、理論と実務の融合に関する教育課程内容に関する意見交換会の実施回数	B	B	B		
2. 教育内容の詳細について、内部評価のための会合を開催する、また、シラバス等の詳細を教員間で共有する	→FDのための意見交換開催回数	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	平成24年4月1日をもって、博士課程開講科目である「先端マネジメント特殊専攻」の科目数の倍増が図られたことにより、さらに多様化した教育内容を提供できるようになった。一方で、理論と実務の融合に関する教育内容に関する意見交換会が十分に実施されているとは言い難い状況は変わらないため、今後は定期的に設ける必要がある。
☆ 目標2	平成23年度においては、外部講師による研究科委員へのFD研修会が開催され、講師とともに教育内容等についての意見交換会が行われた。これをもって教育内容の詳細についての内部評価の会合とするが、今後は、定期的に同会合を設ける必要がある。
備考	